

会 議 録

| | |
|-----------|---|
| 会 議 の 名 称 | 令和5年度第2回守谷市保健福祉審議会地域包括ケアシステム分科会 |
| 開 催 日 時 | 令和5年8月21日（月）午後 2：30 ～ 午後 4：10 |
| 開 催 場 所 | 守谷市役所 議会棟3階第3委員会室 |
| 所管課 | 健幸福祉部 健幸長寿課・介護福祉課 |
| 出席者 | 委 員 田中分科会長、萩原委員、吉田委員、横張委員、清水委員 計5名 |
| | そ の 他 |
| | 健幸長寿課 滝本課長、市村課長補佐、幸田係長、山崎係長、宮下係長、安藤係長 介護福祉課 小林次長兼課長、鈴木課長補佐 |

審 議 経 過

(1)第9期介護保険事業(支援)計画の基本指針(大臣告示)のポイント(案)について

第9期計画に対する国の基本指針（案）の報告をした。

(2)第9期守谷市高齢者福祉計画・介護保険事業計画・守谷市成年後見制度利用促進基本計画(骨子・体系)について

第9期守谷市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の骨子及び体系の報告を行った。

意見

- 基本理念が変更されているようだが、基本理念を変更しても良いのか。
→ 第8期計画では、「住み慣れた地域で健やかで幸せに暮らせるもりや」としており
第9期計画では、「住み慣れた地域で健やかに暮らし、安心と幸せを感じられる守谷」という形での修正を行いました。
- 基本目標（2）「高齢者が住み慣れた地域で暮らせるしくみづくり」で、「ダブルケア」と「ヤングケアラー」という表現があるが、守谷市では、アンケート調査等で、実例のデータを把握しているか。
→ 守谷市にも存在しているという認識のもと、施策展開していく必要があると考えています。
- 成年後見制度について、事業所向け、市民向けの研修会はどのくらい実施しているか。
→ 事業所向けの研修は、南部・北部包括支援センター主催で実施した。市民向け研修は3月に実施し、参加者は50人程度。今後とも専門家の方と相談しながら開催いたします。
- 地域包括ケアシステムを推進する上で非常に重要な訪問系のサービス、特に訪問介護は、なり手がいないということが挙げられているが、守谷市ではどう考え計画に反映させるのか。
→ 「これをすれば、すぐに解決する」という策は見つかっていませんが、皆さんにご意見をいただきながら考えていきます。

(3)守谷市シニアボランティアポイント制度の再開について

- 社会福祉協議会でボランティア活動保険に加入できるはずですが、登録はいつでもできるのか。また加入は必須か。
→ 社会福祉協議会で随時加入できる。ボランティアを実施の時は加入必須事項です。
- 障がい者施設でのボランティアはどの事業所が受け入れるのか。
→ 11月から「Zero Point」と「しとく館 百合ヶ丘教室」が受け入れていただくこととなっています。

※ 次回は9月下旬頃開催